

人口減少、高齢化進行の中

2012年が希望の見える年に

新年おめでとうございます。

今年こそ未来に向けて光が見えるような年にしたい、しなければという決意も込めてお祝いを申し上げます。

飯田市では昨年12月議会で平成24年度から28年度までの後期計画が決まり28年度末人口目標が102,000人となりました。会派みらいの24年提言で「リスクマネジメント」という表現で、事業とそれに伴う予算だけを提案するのではなく、22年決算を基礎に予算の見直しつまり減額も事業によっては必要になるのではないか。という提案をしました。

市の財政当局は、シーリングという言葉で各部局に節減と事業の見直しを迫っています。

このような時代、今までの時代にはなかったことです。市民生活にとって本当に必要なものを見抜く力と、市当局はむろんのこと、議員同士、或いは市民としっかり議論することが求められているのではないのでしょうか。そのために自分を磨き、謙虚に耳を傾けること、勉強することが必要です。

右肩上がりの時代の発想を捨て、新しい時代の新しい感覚を研ぎ澄ますよう今年も努力して行かなくてはなりません。皆様のご指導、ご批判よろしくお願いたします。

福沢 清